

## 職員による自己評価

## A環境面

3単位で学年や障害特性で分けたことで支援がしやすくなっている。

単位によっては狭いので、広く使用できるようにしたい。

職員が入れ替わった際に周知ができていない可能性がある

## B児童への支援内容

単位ごとに障害特性別に支援ができています。

コロナ予防対策として外出支援や行事があまり実施できなかった。

## C関係機関との連携

支援学校などは特に情報共有を行っており、児童の様子や支援について共有を行なっている。

ケース会議や地域連絡会などにも参加し、他サービスなどとも情報共有している。

## D保護者への説明責任・信頼関係

連絡帳をアプリにしたことで、写真を毎日お渡しし、視覚的に支援内容を確認していただくことができるようになった。

コロナ予防対策として定期面談が実施できなかった。

## E非常対応

半年に一回実施し、その様子は親御さんにもお伝えしている。

## 保護者による評価

## A環境面

・利用人数の割には狭い

・資格者や経験者などの状況や職員配置がわからない

## B児童への支援内容

・びっくりするくらい色々プログラムがある

・屋外の活動がもう少しあると良い

・コロナ禍の中で工夫していただいていると思う

## C事業所からの情報発信

・写真付き連絡帳でわかりやすくありがたい。

・面談が今年度できなかったから毎年よりは状況が分かりづらかった

・保護者懇談会があると良いと思う

## D非常対応

・マニュアルを見たことがないからわからない

## 事業所内での分析

## 【共通点】

- ・ 行事や取り組みを評価していただけている。
- ・ 単位で特性分けを行ない、療育がより実践できている。
- ・ 学校よりも楽しみにしている。
- ・ 身体を動かすプログラムが良いが、コロナ予防対策として外での活動が減ってしまった。

## 【相違点】

- ・ 資格者の状況や人員配置がわからない
- ・ 非情災害時の対応やマニュアルがわからない

## 分析・検討してみたて…

### 事業所の強み

- ・ 豊富なレクリエーション、外出行事。
- ・ 障害特性に応じたクラス分け、療育プログラムの実施。
- ・ 身体を動かす取り組み。
- ・ アプリでの情報発信（毎日の写真配布など）

### 事業所の改善点

- ・ 資格者や職員全体の一覧を作成して配布する
- ・ コロナが落ち着いた時点で面談を再開する
- ・ 非常災害時の対応について、再度全利用者様に周知し、避難訓練実施の際にはどのような災害想定、様子、評価をお伝えできるようにする。

### 事業所の改善への取り組み

ご家族が不安になられる内容を事前に想像し、安心して利用できる環境を整える。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

コロナ禍で面談を実施できず、ご意見をいただく場が減っていたので、色々なご意見をいただけてよかった。

事業所名 アレッタ児童デイサービス弘明寺  
担当者 丸山 彰彦